

※※2021年 2月改訂 (第6版)

※2013年 2月改訂

◆貯 法 : 室温保存 (遮光した気密耐圧容器)

◆使用期限 : 缶底に記載 (3年)

日本標準商品分類番号	872649
承認番号	39A-5332
薬価収載	1967年7月
販売開始	1967年7月

外皮用薬 〈エアゾール式鎮痛消炎剤〉

エア-サロンパス®

AIR-SALONPAS®

【禁忌】(次の患者には使用しないこと)

本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者。

【組成・性状】

1. 組成

本剤100mL中以下の成分を含む。

サリチル酸メチル………1.75g d-カンフル………3.0g

サリチル酸グリコール…1.75g ジフェンヒドラミン…0.4g

ℓ-メントール………3.2g ニコチン酸ベンジル…0.04g

添加物として香料、スクワラン、LPG、DMEを含む。

2. 製剤の性状

本剤は噴霧式エアゾール剤で、芳香性を有する微黄色の液体と液化ガスを耐圧容器に充填したものである。

【効能・効果】

下記における鎮痛・消炎

捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛

【用法・用量】

通常、1日1～数回、適量を患部に噴霧する。

【使用上の注意】

1. 副作用

接触皮膚炎(頻度不明):発疹、発赤、腫脹、痒痒感、刺激感、水疱、糜爛、色素沈着、皮膚潰瘍等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

類薬での副作用(頻度不明):吸入によりめまい、吐き気、悪心、嘔吐等を起こした例がある。

※※ 2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

(1)妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対しては、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。[妊婦に対する安全性は確立していない。]

(2)シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。

3. 小児等への投与

乳幼児には刺激が強すぎることがあるので慎重に使用すること。

4. 過量投与

類薬での報告(外国症例):

魚鱗癬、乾癬症等に対してサリチル酸軟膏を大量、広範囲に塗布した例で、サリチル酸中毒を起こしたとの報告がある¹⁾。

5. 適用上の注意

(1)次の部位には使用しないこと。

- ・眼または眼の周囲
- ・損傷皮膚および粘膜
- ・湿疹または発疹の部位

(2)使用前によく振とうすること。

(3)吸入によりめまい、吐き気等の症状を起こすことがあるので、できるだけ吸入しないよう、また、周囲の人にも十分注意して使用すること。

(4)凍傷を起こすことがあるので、患部まで約10cmの距離で噴射すること。また、同じ箇所3秒以上連続して噴射しないこと。

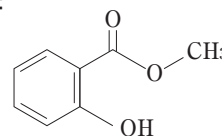
(5)大量・広範囲に使用しないこと。

【有効成分に関する理化学的知見】

(1)一般名: サリチル酸メチル(Methyl Salicylate)

化学名: Methyl 2-hydroxybenzoate

構造式:



分子式: C₈H₈O₃

分子量: 152.15

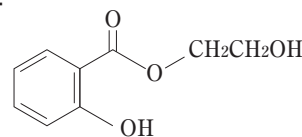
性状: 無色～微黄色の液で、強い特異なにおいがある。エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。水に極めて溶けにくい。

沸点: 219～224℃

(2)一般名: サリチル酸グリコール(Glycol Salicylate)

化学名: 2-hydroxyethyl salicylate

構造式:



分子式: C₉H₁₀O₄

分子量: 182.17

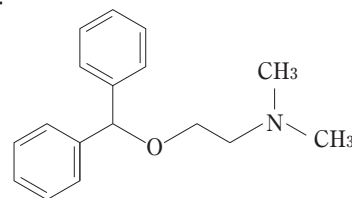
性状: 無色澄明の粘性の液で、においはない。メタノール、エタノール(95)、ジエチルエーテル又はクロロホルムと混和する。水にほとんど溶けない。

沸点: 169～170℃(減圧・1.56kPa)

(3)一般名: ジフェンヒドラミン(Diphenhydramine)

化学名: 2-(Diphenylmethoxy)-N,N-dimethylethylamine

構造式:



分子式: C₁₇H₂₁NO

分子量：255.35

性状：淡黄色～黄色澄明の液で、特異なおいがあり、味は初め舌をやくようであり、後にわずかに舌を麻痺する。無水酢酸、酢酸(100)、エタノール(95)、又はジエチルエーテルと混和する。水に極めて溶けにくい。

沸点：約162℃(減圧・0.67kPa)

【取扱い上の注意】

火気と高温に注意

高压ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- 1) 炎や火気の近くで使用しないこと。
- 2) 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- 3) 火花がでるところで使用しないこと。
- 4) 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
- 5) 火の中に入れていないこと。
- 6) 使い切って捨てること。

高压ガス：LPG/DME

- 缶の錆による破裂を防ぐために、水回りや湿気の多い場所に置かないこと。
- 捨てるときは、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜くこと。

【包装】

100mL/1本×10本

【主要文献】

1) Brubacher JR, et al: Clinical Toxicology 34(4), 431-436, 1996

【文献請求先】

久光製薬株式会社 学術部 お客様相談室

※ 〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

フリーダイヤル 0120-381332

FAX.(03)5293-1723

受付時間／9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く)